

# スモークフェンスト 施工マニュアル

2024年4月

日本板硝子S&S株式会社  
ファサード事業部

〒110-0014  
東京都台東区北上野2丁目23番5号  
住友不動産上野ビル2号館7階  
TEL 03-5811-1153

## 1. 準備品(T型)

F102: パンチアングル  
F101: 天井バー  
F104: 上部固定ボルト  
M6×90 M6用座付きと平角ナット  
F106: 上部締付け金物  
附属M5ボルトセット( L=22、L=10 )  
F112: 塩ビガスケット  
F202: ガラス上辺先付ガスケット用接着剤  
F130: 緩衝部方立セット  
F105: 隠し方立(一般部)  
F122: 方立付端部金物(端部方立F122)  
F103: ボトムチャンネル  
F120: コーナー化粧カバー  
F201: 端部タイト材  
F108: 平継金物  
シリコーンシーラント  
シーリング充填用ガン

## 2. 施工手順

- (1) 墨だし
- (2) 上部締付け金物のセット
- (3) パンチアングルの取り付け
- (4) 上部固定ボルトのセット
- (5) 天井バーに平角ナットをセット
- (6) 天井バーを上部固定ボルトに締付
- (7) 天井バーレベル確認
- (8) 塩ビガスケット方立部と端部の加工
- (9) 塩ビガスケットに接着剤塗布
- (10) 天井バーに塩ビガスケットを嵌込む
- (11) 天井バーに隠し方立をセット
- (12) 塩ビガスケットにガラスをセット
- (13) 端部タイト材のセット
- (14) コーナー化粧カバーセット
- (15) ボトムチャンネルセット
- (16) ガラス縦目地シール

**(1) 墨だし**

すでに取り付けられている野縁受け近傍に、野縁受けに直交するように通りの基準墨を出す。

**(2) 上部締付け金物のセット**

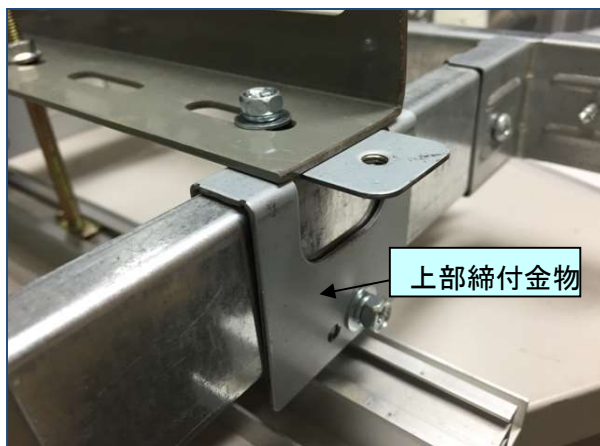
野縁受けに上部締付け金物をピッチ900mm程度で附属のボルトで仮止めをする。



**(3) パンチアングルの取り付け**

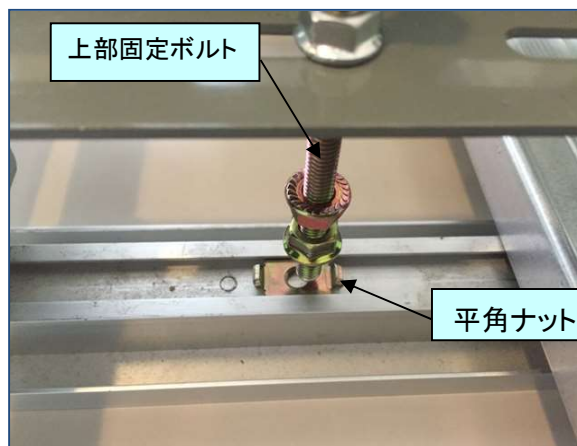
①. 上部締付け金物にパンチアングルを載せ附属のボルトで仮止めする。

②. 基準墨に沿ってパンチアングルの位置調整を行い、上部締付け金物と野縁受けを附属のボルトで固定する。



**(4) 上部固定ボルトのセット**

パンチアングルの穴に上部固定ボルトが600mmピッチ以内になる様に取り付ける。



**(5) 天井バーに平角ナットをセット**

あらかじめ天井バー最上段の溝に上部固定ボルトのM6平角ナットを上部固定ボルトの本数分を挿入しておく。

**(6) 天井バーを上部固定ボルトに締付**

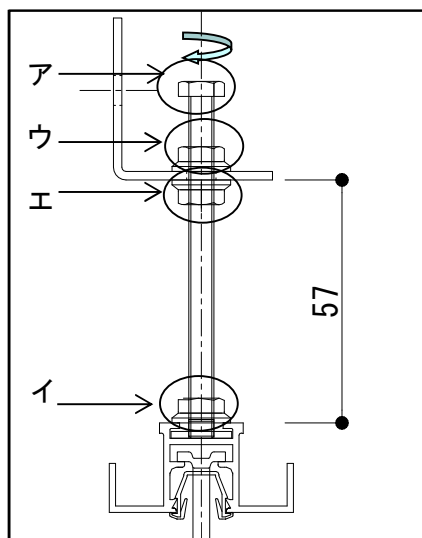
①. 天井バーに挿入した平角ナットを上部固定ボルトの位置に合わせ、上部固定ボルトを締付ける。

②. 上部固定ボルトはパンチアングル下面から天井バー上面の長さをおおよそ57mmに合わせておく。

(※天井ボードの厚みにより寸法は変わります)



- ③. 天井バーを連結する場合は平継金物を使用する。このとき連結部での段差、ズレがないことを確認する。
- ④. パンチアングル下面から天井バー上面までの寸法を57mmに合わせ、上部固定ボルトを右図記号の順に本締めを行い、高さを固定する。  
 ア・イ. で本締め  
 ウ・エで高さの「調整と固定」を行う。

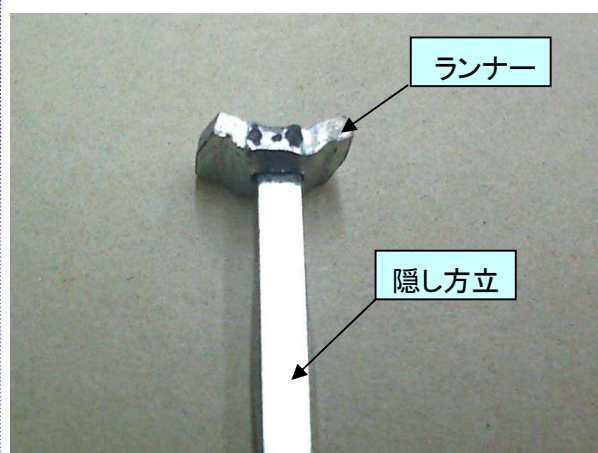
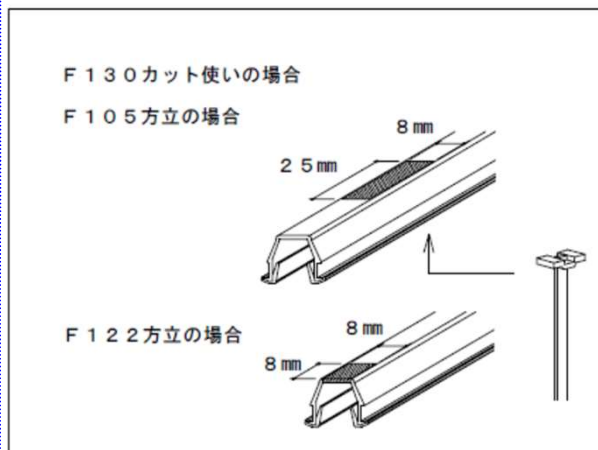


**(7) 天井バーレベル確認**

水系などにて、天井バーの上下左右のレベル位置を確認する。

**(8) 塩ビガスケットの方立部の加工**

- ①. F130とF105の隠し方立取り付け部のガスケットは、右図に示す寸法(25×8mm程度)に切り欠く。
- ②. 端部方立F122のランナーを通す箇所を右図のようにガスケットをカッターにて切り欠く。



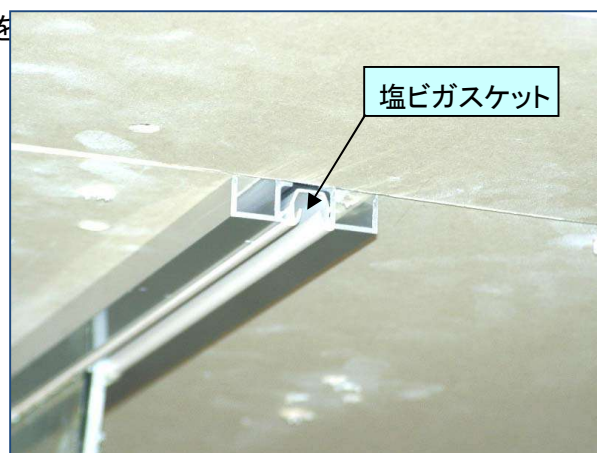
**(9) 塩ビガスケットに接着剤塗布**

シーリング用ガンにセットした接着材を塩ビガスケット溝内へ線状に打ち込む。この時、ガスケット両端から50mmは、外して打ち込みする。

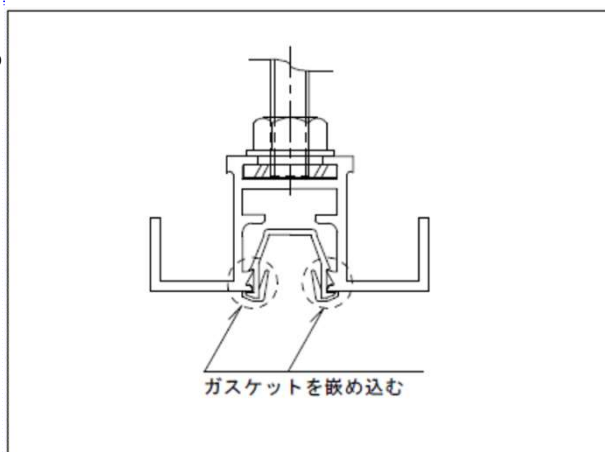


**(10) 天井バーに塩ビガスケットを嵌込む**

①. 接着剤を打ち込みした塩ビガスケットを天井バーに嵌込む。



②. ガスケットを天井バーに押さえつけ、バーの溝にガスケットが十分嵌合するように調整する。



### (11) 天井バーに隠し方をセット

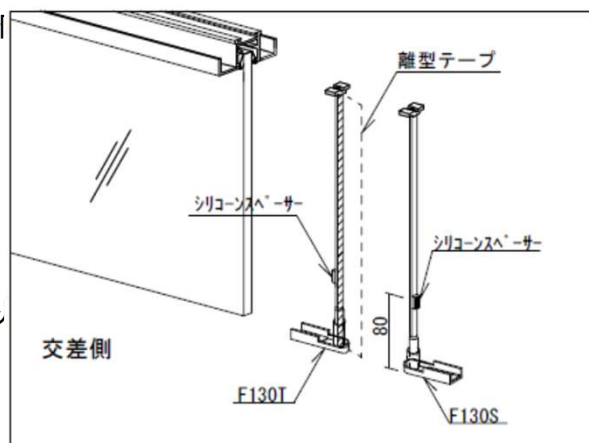
- ①. L型、T型、+型などの交差部と直線部が接する部分では緩衝部方立セット F130を背面使いに使用する。

(F130セットの使い分け)

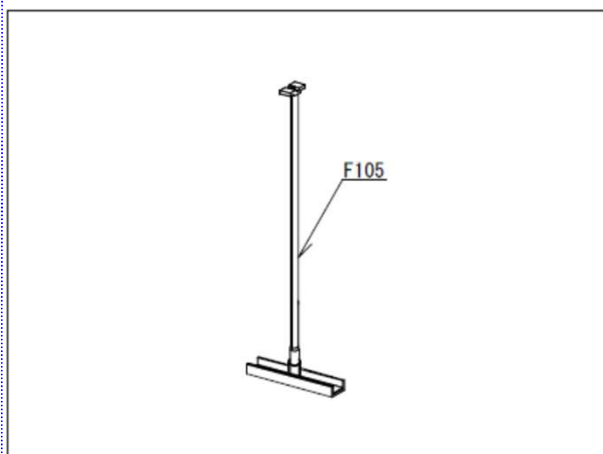
F130T: ランナー頭部に「黒色」マーク

F130S: ランナー頭部に「赤色」マーク

- ②. 交差部側には、必ず離型テープが貼付いた方立F130Tを使用する。

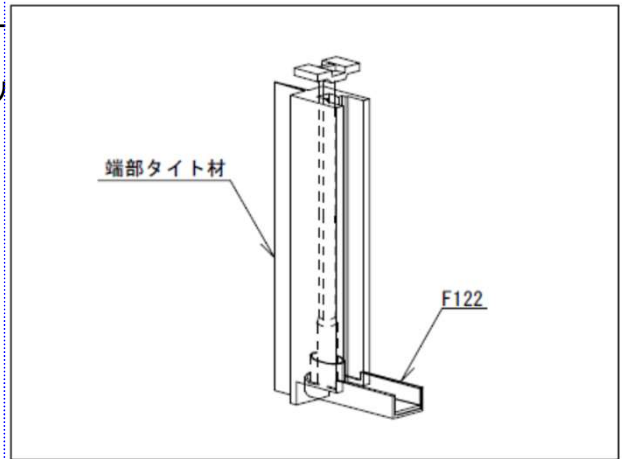


- ③. それ以降、直線間はF105の隠し方立セットを使用する。

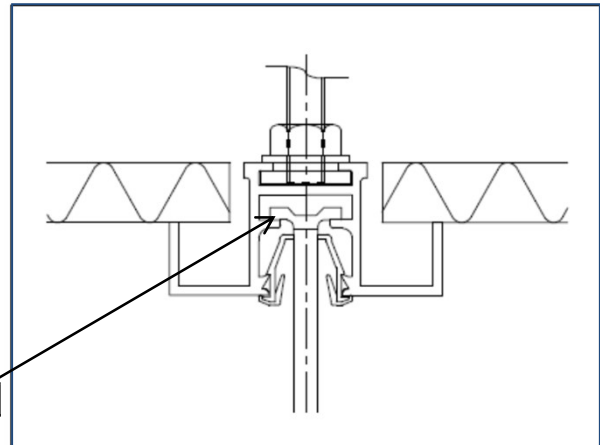




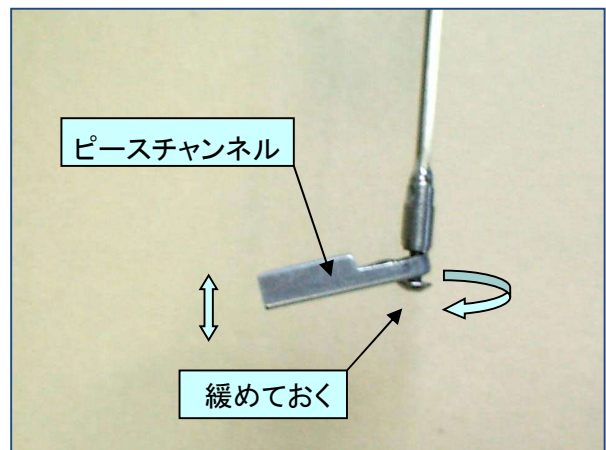
- ④. F122端部方立セットに予め端部タイト材F201を嵌めておいてから、天井バーに取り付ける。  
 ※端部タイト材F201に予めピッチシーンを施工しておく…P9、(13)参照。



- ⑤. 各々方立セットの取り付けのときは、必ず天井バーの上から2段目の溝にランナーを挿入した事を確認する。

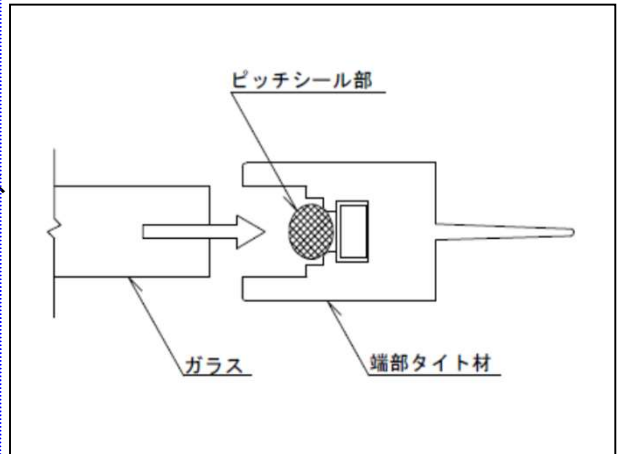


- ⑥. ガラスが嵌めやすい様に、隠し方立てからピースチャンネルのビスを緩めておく。  
 ※ガラス施工時にネジを締付けます。ビスの締め忘れにご注意ください。



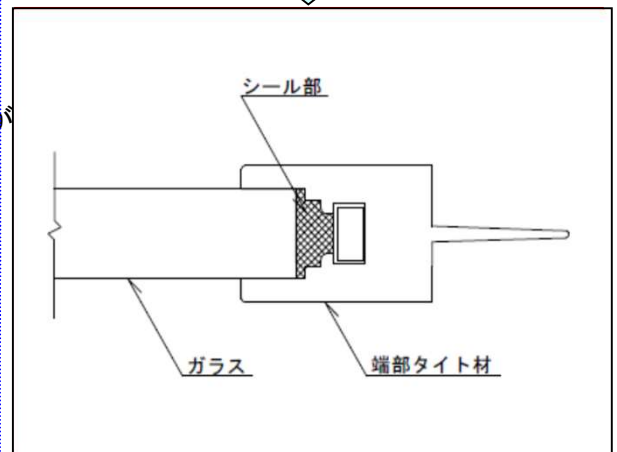
## (12) 天井パー塩ビガスケット部にガラスをセット

- ①. 塩ビガスケットが取り付けられている溝部にガラスを嵌め込み、ガラス下辺は隠し方立のピースチャンネルにガラス下端部がかかるようにセットする。  
このとき、ガラスはガスケット底に接触するよう上方に嵌め込む。のち、ガラスが下がらないようピースチャンネルのネジを閉めつける。
- ②. ガラス自重を支持した後は、ガラス間縦目地の幅を8mmに合わせるため、ガラスを左右に移動させ目地幅の調整を行う。
- ③. なお緩衝部F130交差部と直線部の接続部目地巾は13mmにする。



## (13) 端部タイト材のセット

- ①. 右図のように、端部タイト材のガラスが納まる溝部にシリコンシーラントでピッチシールを行う。  
※ピッチシールは3ヶ所(以上)程度。  
※ピッチシールは、はみ出さない程度の量にして下さい。



- ②. 端部タイト材を端部方立とガラス端部に嵌め込む。

- ③. 端部タイト材のヒレ位置が揃うようヘラなどで調整を行う。

- ④. ガラス施工時、緩めたピースチャンネル下のビスを締め込みを再度確認する。  
(ビスの締め忘れに注意する。)



#### (14) ボトムチャンネルセット

- ①. ボトムチャンネルを所定の寸法  
(壁から15mm程度離す)に切断する。
- ②. 緩衝部ボトムチャンネルはその部分  
で分割する。
- ③. ボトムチャンネルにシリコンシーラ  
ントでピッチシールする。  
(@300~@500程度とする)
- ④. ボトムチャンネルをガラスやピース  
チャンネルに嵌め込む。  
このとき、右図のように端部タイト材の  
嵌合調整をする。



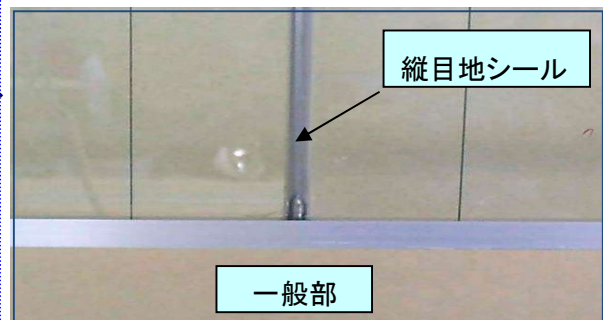
#### (15) コーナー化粧カバーセット

コーナー化粧カバー内側にピッチシールを  
行い、端部方立てと端部タイト材に嵌め込  
む。

#### (16) ガラス縦目地シール

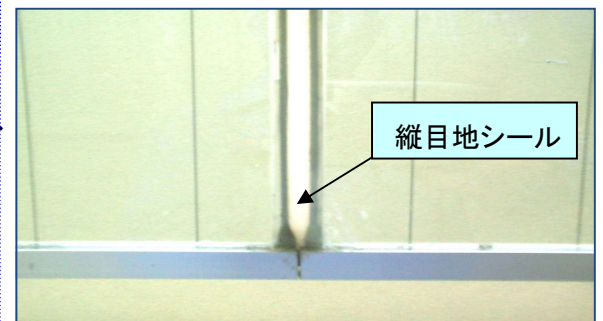
(一般部)

- ①. 一般部F105の目地はテープ養生後  
一人がシリコンガンにて目地に充填し、  
もう一人が裏側でヘラを当てて同じ  
スピードで作業する。その後、余分な  
シールをヘラにて除去し、仕上げる。  
(シール目地幅は8mm)



(緩衝部)

- ①. 一般部と同様に、  
緩衝部F130の目地はテープ養生後  
一人がシリコンガンにて目地に充填し、  
もう一人が裏側でヘラを当てて同じ  
スピードで作業する。その後、余分な  
シールをヘラにて除去し、仕上げる。  
(シール目地幅は13mm)

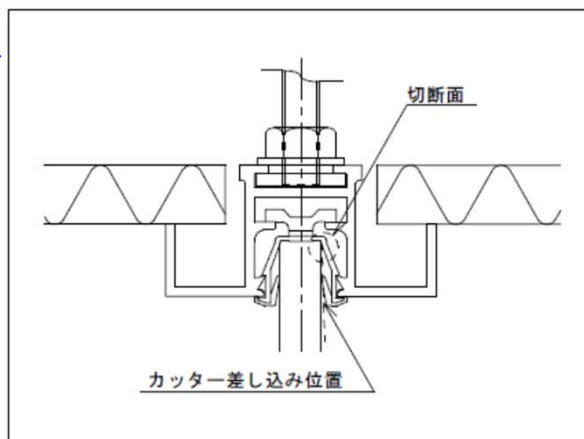
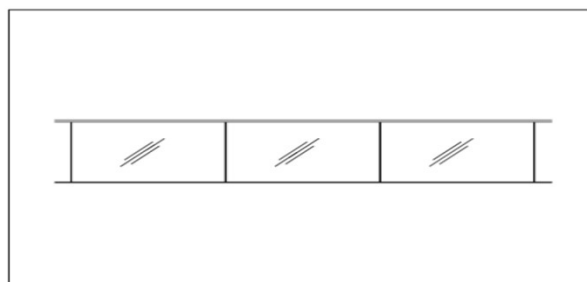


緩衝部

ボトムチャンネルは分割する

### 3. ガラスの取り外し

- (1) ボトムチャンネルを取り外す。
- (2) 取り替えるガラスの両側縦目地シールを切断する。
- (3) ピースチャンネルのネジを緩める。
- (4) 右図のように塩ビガスケットとガラスの隙間にカッターを差し込みガスケットをガラス面に沿って切断して行く。



- (5) 切断側のガスケットリップをヘラなどで（バー材にキズが付かないよう）おこしながら取り去る。
- (6) ガラスは少し面外方向に傾けながら引き抜いていく。

お問合せ先

日本板硝子S&S株式会社 ファサード事業部 営業部 電話:03-5811-1153

営業日 : 平日(年末年始、GW、夏季休業日についてはお問合せ下さい)

営業時間: 9:00~17:50

15.10.01 ⑥d